

第6回「新・京都市産業振興ビジョン(仮称)」策定検討委員会 発言要旨の整理

(平成 23 年3月 18 日(金) 京都ロイヤルホテル&スパ)

テーマ	主な発言の概要
ビジョンの 名称	<ul style="list-style-type: none"> ●ビジョンの名称について <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンのタイトルはインパクトがあってよい。 ・ 他の計画はタイトルから農業や観光の計画であるということがはっきりとわかるが、このタイトルではものづくりのビジョンだとはすぐにはわからないのではないか。 ●ビジョンの副題について <ul style="list-style-type: none"> ・ 副タイトルは「知・美・匠のものづくり都市」としてはどうか。
震災に関する 記述	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本の震災の記載について <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の東日本の震災について、何らかの形で触れる必要があるのではないか。 ・ 外部環境の部分で、事実として言及するのがよい。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ●目標値の設定について <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標で市内総生産を年2%増加としているが、目標が高すぎないか。 ・ 日本全体の経済を支えるという意味でも、京都が高い目標を掲げることに意義がある。 ●ビジョンの進捗状況の点検・評価について <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンの進捗状況の点検・評価について、なんらかのマイルストーン(中間指標)がないと点検することができないのではないか。マイルストーンを作る必要がある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●セクター間の連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各セクター別の役割が記載されているが、それぞれのセクターを越えた主体間の連携が重要であることを強調してはどうか。 ●伝統産業との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統産業とほかの産業との連携が進んでいることを記述してはどうか。 ●「美」などの新価値 <ul style="list-style-type: none"> ・ パリやイタリアなどでは、デザインなどが大きな付加価値を生んでいる。京都がもつ「美」が産業の面からみても価値があることを示したことに意義がある。